



TITLE:

憲法と財政經濟

AUTHOR(S):

神戸, 正雄

CITATION:

神戸, 正雄. 憲法と財政經濟. 經濟論叢 1919, 8(3): 437-440

ISSUE DATE:

1919-03

URL:

<https://doi.org/10.14989/127494>

RIGHT:

憲法と財政經濟

神戸 正雄

(一)
今年是我邦憲法發布後三十年に相當するといふのであるから、吾人は茲に憲法と財政經濟との關係を考究して、聊か一國民として此に祝意を表しやうと思ふ。偕て此憲法は我邦にては建國以來既に之ありしともいはるるが、斯の如き意味の憲法のこととは別とし、明文となつて現はれたる現在の憲法は即ち泰西流の夫で、夫に我邦特有の條項もあり又我に特別なる解釋の必要なるものもあらうが、大體西洋式に出來たものであつて、此が時勢の必要に促されて生じたものと見て差支ない。即ち其憲法の發生したのには確に時勢の背景があり、其時勢の背景には又經濟財政上の要求があつと考へらるる。そして既に此憲法が一旦成立すると、其が更に又經濟財政に影響を與ふことになる。實際我邦の經濟財政も其影響の下に今日の發達を遂けたるも

のと認めらるる。

(二)

此憲法の生じたるが爲めに、我國政治の變化したる最主要なる點は議會の參政といふことである。人民の意思を反射する所の議會が出来て其が少くとも法律の制定に參與し、豫算の決定に參加するといふことである。そして特に租税は法律を以て定めらるるを要することになるから、財政事項は議會の議を経て決定せられ、人民の同意を得て處理せらるることとなる。蓋し政治につき此議會を要することとなつたのも、畢竟此財政に於て人民に負擔を課することとなりたるに依り、其れにつき人民の同意を得るを穩當とすることとなつたのに由來する。勿論議會の此につきての協賛并に其他と關聯して、自然財政事項の公開が行はるることになり、其が議會并に一般社會の目前に公開さるるの結果は政府も責任を重んじて無用事の爲めに濫費せず、又凡べて立案を慎重にすることとなる。議會も亦た十分入念に之を吟味し批判した上で協賛

を與ふることになる。随ふては財政が一般に引縮まり租税に於ては國民經濟上の影響が最良く考慮せらるることとなり、國債の信用は一層高く評價せらるることとなる。若も議會なき專制政治が行はれたならば、財政の公開が行はれず假令公開さるるにしても、此政治の下に於ては到底外部より其につき十分なる信用を置かることは出來ず。政府も責任の輕き處よりして、自ら不都合なる收支を敢てし、租税を設るにつきても、唯だ々々財政收入上の都合に重きを置きて其國民經濟上の影響の考慮を等閑視することとなるを免れない。此等の點から考えて議會政治又は憲法政治は財政を堅實にし、國民經濟の發展を進むるものといふて良い。

(三)

更らに我が經濟界に重大なる影響を與へたる他の憲法條項は所有權不可侵の原則を定めたるものである。此は各人の經濟生活にとりては居住移轉の自由、信書の秘密等と共に、前記の財政特に租税協賛權よりも一層重大で、我等の今

日の經濟組織の基礎を定めて居る。此あるが故に吾々は財産を私有し、自由競争を爲して、各自の營利を計り得る。其が爲めに各人は利己心を刺戟せられ、自己の能力を十分發揮して經濟上に活動することを得る。其能力發揮の結果は悉く自己の收得に歸せしむることを得る。其に對し法律上の制限を受けることはありとも、其制限の規定は議會の協賛を経なければならぬから人民の同意なくしては政府獨りで勝手に制限しないといふことを保障されて居る。斯くて各人は可なり大なる自由を享けて其經濟上の地位を昂上することを得、随つては國民經濟全體の發展をも遂ぐるを得ることとなつて居る。我國の經濟上の發展も蓋し此に負ふことが少くない。其他行政より獨立して地位の保障せられたる裁判官により、而も公開にて裁判を受けるが如きも人民の生命財産の安全を保障したるもので、此れ亦た各人の營利努力を助長することになつて居る。

(四)

斯の如くに考へ来るに於て、憲法は確に我財政を堅實にし、我國民經濟を進捗せしめたものであるといつて良い。大に之につき感謝しなければならぬが、併し更に進んで考ふると尙ほ其に不満足なるものがないでもない。由來此憲法の下に於ける議會參政々治に於て、利己心の刺戟による營利活動が公共の福利を無視することあるも之を十分に抑壓することが出來ず、租稅立法を爲すにつきても財産階級の利益は良く注意さるるが下層民の利益は輕視さるといふこととなつて居る。此等は畢竟、議會の組織の缺陷に歸すべきものである。議會の組織につきては憲法は之を貴族院は勅令、衆議院は法律に讓つて居る。随つて此等は時勢の必要に應じて漸次改正さるべきことを前提として居る。其趣旨は大に諒とすべく、其れで次第に改正せられて理想に進みつつあるが、偕て其が例之普通選舉にまで達したにしても、其れで果して良好なる結果の得らるるやには別に疑がある。勿論其れで從來の如き財産階級の保護に偏重することは

避けらるるが、併し此度は主客顛倒して下層民の横暴を齎らすかも知れない。で固より一面には右の如く此組織を改めて民意表現の範圍を擴張することにするのも良いが、他方に於て國民の政治上の自覺を十分に起させて、自己の屬する階級利益の主張のみならず、國家全體の利益の尊重といふ信念を強くさせなければならぬ。

若も之につきての政治上の訓練が良く行けば、今日の儘でももつと夫の弊害を少くすることが出来るであらう。其他議員選舉に於ける買収の弊害、随つて議員が政府より買収せられ、保護會社より買収せられ、其他の團體より請託さるるの弊害に至ては、一方より見れば憲法の認めた利己心刺戟原則の影響ともいへるが、併し他方よりいふと此も國民の政治上の訓練の不足に歸すべきである。で此憲法下に於ける政治に對する吾人の不滿は實は憲法の條文の不備といふよりは、むしろ國民自らの政治上の訓練の不足に歸すべきである、故に又吾人は今日憲法發布三十年記念日を迎へて憲法に對しては滿腔の誠

意を以て感謝を表し、同時に國民の一員として又教育者の一人として國民の政治上の訓練につき盡す所の足らざりし罪を大に謝しなくてはならぬ。